



### 【大学のまち・京都】

京都全体をキャンパス化し、世界中から集う学生・研究者・芸術家や地域住民など、あらゆる人々が活発に交流し、社会課題を解決するとともに、新たな知見を生み出す大学のまち

#### ●魅力的な学部・大学院教育

リーディング大学院など多様で個性的な大学の教育環境が充実し、世界で活躍する人材を輩出する

#### ●大学ユートピア特区

公的施設の無料化や税制優遇など、理想的な教育・研究・起業環境が整備されたまちを創る

#### ●留学生5万人の実現

多くの留学生が日本文化に触れながら暮らし学べる、京都の特色を生かした施設や住環境などを整備する



最高の教育、研究、起業環境を整え、世界中から優秀な学生や研究者を集める。



### 【交流の好循環を支える地域基盤】

高速交通などにより海外や地方からのアクセスを飛躍的に向上させるとともに、街なかでの人々の快適な往来を可能にする交通や情報網を確保し、「世界交流首都」の実現を支えます。



### 【世界の文化首都・京都】

皇族の方を京都にお迎えし、日本文化の裾野を京都から拡大して、多様な人材が活躍する文化のまち

#### ●双京構想の実現

皇室の弥栄のために、京都にも皇族の方にお住まいいただき、東京との双京を実現する

#### ●日本文化の中核都市

文化庁、観光庁機能を担い、日本文化の継承と発展を支え、観光分野でも日本をけん引する

#### ●美しい街並みの保全と創造のまち

千年の古都と新たな活力を創造する未来都市が共存し、世界の人々が憧れ集うまちを創る

#### ●クール京都

文化関連産業で世界のトップブランドを確立する

#### ■外国人の訪問者数(推計 2010年)

	来日者	人口10万人当たり
東京都	519万人	3万9千人
大阪府	225万人	2万5千人
京都府	207万人	7万8千人
神奈川県	153万人	1万7千人
千葉県	129万人	2万1千人

※以下の資料を基に事務局にて算出  
【資料】国勢調査(平成22年度、総務省)  
訪日外客訪問地調査(平成22年、JNTO)

京都は人口10万人当たりの外国人訪問者数が全国1位。他の都市ではありえない経験や高品質の観光を提供できる体制を整えます。



### 【価値創造都市・京都】

時代の変化の先頭に立ち、知恵と技術で幅広い分野で価値を創造し続け、世界の産業と生活革新をリードするイノベーションの都

#### ●京都イノベーションベルトの形成

京都市桂から学研都市一帯を未来型新市街地として整備する

#### ●知恵産業のまち

人々の幸福を志向し、地域内外の資源や知恵を活かした価値のある製品やサービスを創造する企業を輩出する

#### ●原子力エネルギー・ゼロの京都

地産地消型エネルギーの普及と省エネ・創エネ技術で循環型社会を実現する



京都産業の多様性や知恵の蓄積を生かし、「知恵産業」を確立する。画像は第4回知恵ビジネスプランコンテスト認定企業。



## 京都の未来を考える懇話会

# 『京都ビジョン2040』を発表

京都の行政、産業、学術、観光、文化・芸術、メディアの代表からなる「京都の未来を考える懇話会」は、3年間・12回にわたる懇話会での議論を取りまとめ、「京都ビジョン2040」を発表しましたので、その概要を報告します。

#### 京都の未来を考える懇話会メンバー

- 山田 啓二 京都府知事
- 門川 大作 京都市長
- 立石 義雄 京都商工会議所会頭  
京都府商工会議所連合会会長
- 松本 紘 京都大学総長
- 柏原 康夫 京都府観光連盟会長  
京都市観光協会会長
- 池坊 由紀 華道家元池坊次期家元
- 白石 方一 京都新聞社会長兼社長



記者会見の様子(平成25年5月31日 市内ホテル)

## 30年後の京都の姿は「世界交流首都」

懇話会では、30年後の京都の「ありたい姿」として、「世界交流首都・京都」を提案します。人と人との交わりこそが価値を生み出します。日本文化の中核として、知や精神の交流、人と人との交流、文化や産業の大交流を作り出し、活気と創造性にあふれる京都を目指します。このビジョンを達成するための3つの柱として、「世界の文化首都・京都」、「大学のまち・京都」、「価値創造都市・京都」をとりまとめました。また、この3つの柱を支えるための高度なインフラ整備など、「交流の好循環を支える地域基盤」の確立も提案しています。

今後、懇話会は、府民、市民とビジョンを共有し、従来の行政の枠組みにとらわれずオール京都で新しい街づくりのあり方を検討していきたいと考えております。懇話会を構成する団体は、「京都ビジョン2040」を踏まえ、実現に向けて具体的な行動を推進します。京都の各界がビジョンの理念や考え方を共有し、発展させることで京都の輝きは一層増すでしょう。府民、市民一人ひとりが未来に積極的にかかわることで、ビジョンを実現できると確信しています。

「京都ビジョン2040」は本所HPなどで公開しています。